

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年3月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年3月1日～3月31日）

○調査期間：令和6年3月28日～令和6年4月19日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業18企業、製造業19企業、卸売業13企業、小売業21企業

飲食業12企業、サービス業32企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計115企業>

○調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

業況DIはマイナス幅が拡大し、水準DIはマイナス幅が縮小した

## 1. 業況判断

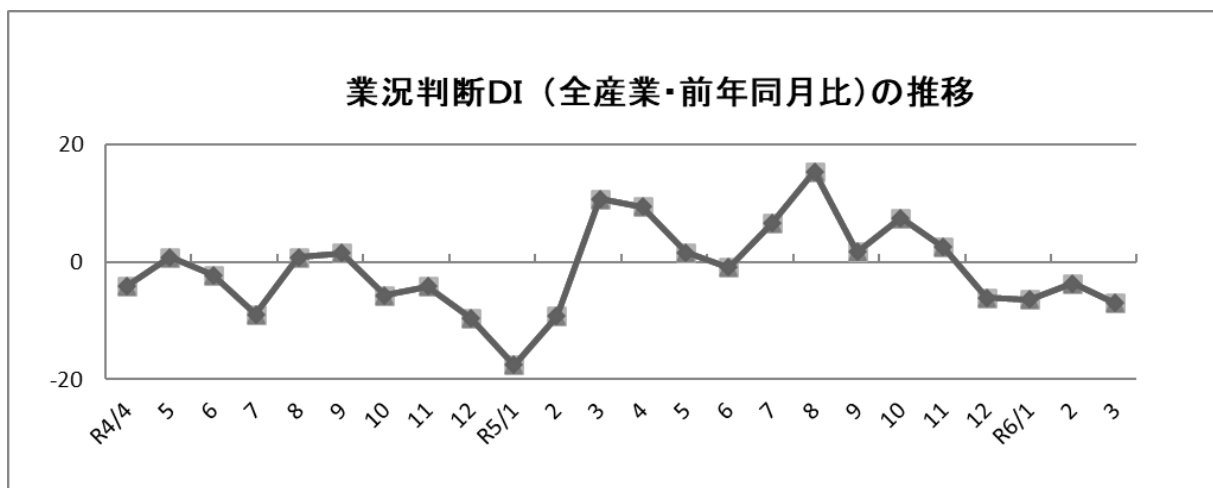
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲3.6)より3.4ポイント下降し、▲7.0となった。業種別では、小売業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラスから0になった。製造業は0からマイナスになり、サービス業はマイナスからプラスに転じた。卸売業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナスの幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲15.3)より10.1ポイント上昇し、▲5.2になった。業種別では、小売業はプラス幅が拡大し、サービス業はマイナスから0となった。飲食業・製造業・建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業は横ばいであった。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	19.1 (17.1)	54.8 (62.2)	26.1 (20.7)	▲7.0 (▲3.6)	22.6 (15.3)	49.6 (54.1)	27.8 (30.6)	▲5.2 (▲15.3)
建設業	5.6 (6.7)	72.2 (73.3)	22.2 (20.0)	▲16.6 (▲13.3)	11.1 (0.0)	61.1 (80.0)	27.8 (20.0)	▲16.7 (▲20.0)
製造業	10.5 (12.5)	31.6 (75.0)	57.9 (12.5)	▲47.4 (0.0)	21.1 (12.5)	36.8 (50.0)	42.1 (37.5)	▲21.0 (▲25.0)
卸売業	23.1 (15.4)	46.1 (53.8)	30.8 (30.8)	▲7.7 (▲15.4)	30.8 (15.4)	30.7 (61.5)	38.5 (23.1)	▲7.7 (▲7.7)
小売業	33.3 (27.3)	47.7 (54.5)	19.0 (18.2)	14.3 (9.1)	33.3 (31.8)	52.4 (40.9)	14.3 (27.3)	19.0 (4.5)
飲食業	25.0 (41.7)	50.0 (25.0)	25.0 (33.3)	0.0 (8.4)	25.0 (16.7)	33.3 (33.3)	41.7 (50.0)	▲16.7 (▲33.3)
サービス業	18.8 (9.1)	68.7 (72.7)	12.5 (18.2)	6.3 (▲9.1)	18.8 (12.1)	62.4 (57.6)	18.8 (30.3)	0.0 (▲18.2)

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

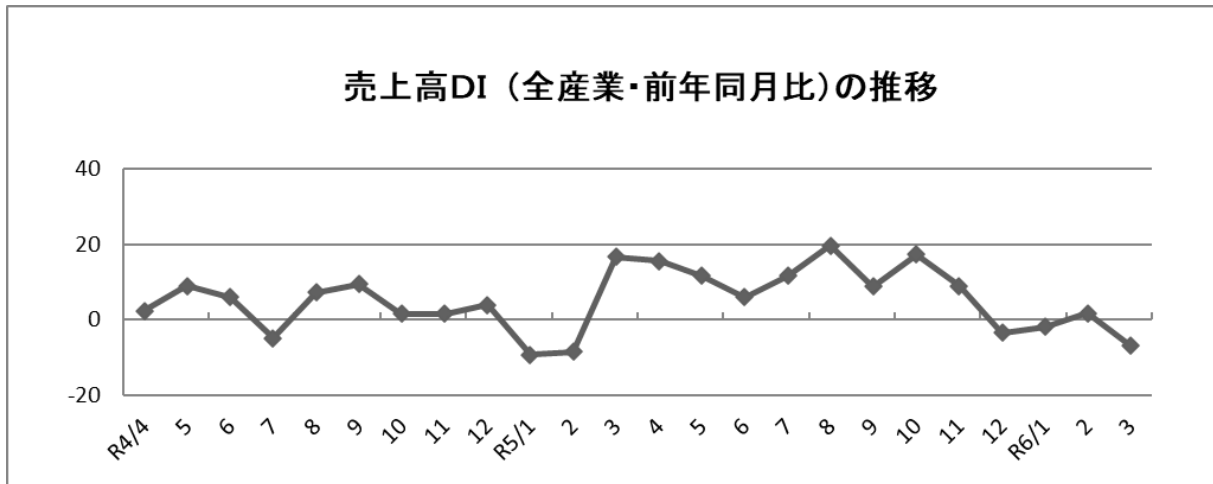


## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(1.8)より▲8.7ポイント下降して、▲6.9となった。  
業種別に見ると、小売業・サービス業はプラス幅が拡大し、製造業はプラスからマイナスへ転じた。卸売業・飲食業は0からマイナスになり、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
全体	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3	9.0	▲3.5	▲1.8	1.8	▲6.9
建設業	▲10.6	▲29.4	▲31.5	0.0	▲23.5	▲27.7	▲17.6	▲5.9	0.0	▲5.3	▲11.7	▲13.3	▲22.2
製造業	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲23.5	11.8	6.2	▲31.5
卸売業	33.3	▲12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1	0.0	21.5	▲15.4	0.0	▲7.7
小売業	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7	10.6	0.0	9.1	19.1
飲食業	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲33.3
サービス業	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲12.1	▲3.1	3.0	9.4

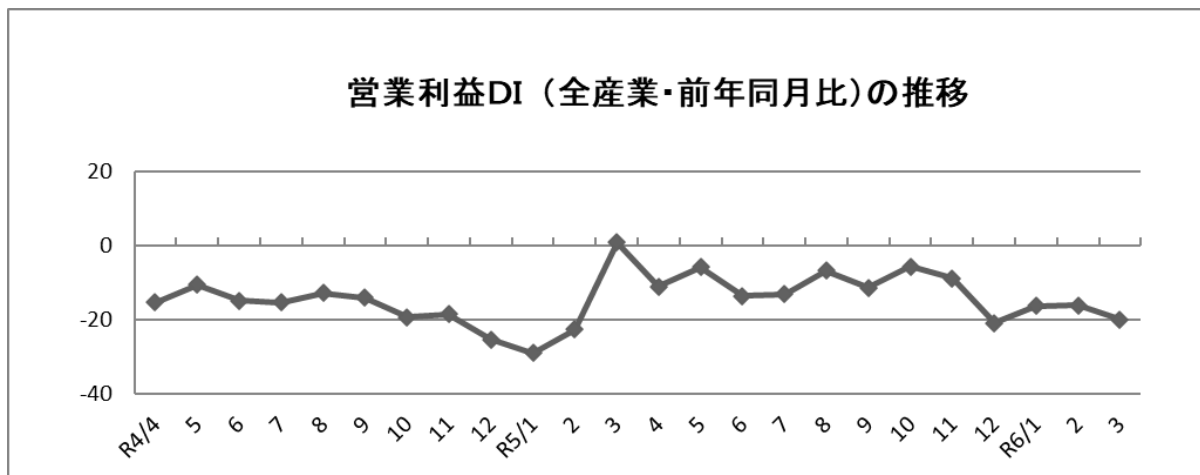


## 3. 営業利益DI（前年同月比）

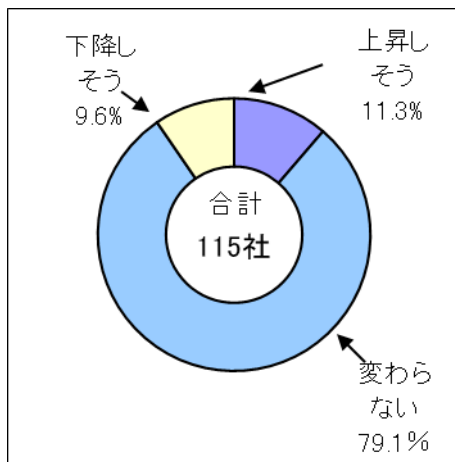
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲16.2)より3.8ポイント下降して、▲20.0となった。  
サービス業がマイナスからプラスへ転じ、卸売業はマイナス幅が縮小した。小売業・建設業・飲食業・製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
全体	0.8	▲11.2	▲5.9	▲13.6	▲13.2	▲6.8	▲11.4	▲5.8	▲8.9	▲20.9	▲16.4	▲16.2	▲20.0
建設業	▲15.8	▲35.3	▲36.8	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲29.4	▲17.6	▲5.0	▲15.8	▲23.5	▲13.3	▲22.2
製造業	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5	▲35.3	▲5.9	▲25.0	▲57.9
卸売業	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0	▲7.1	▲23.1	▲23.1	▲7.7
小売業	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2	▲15.8	▲22.2	▲18.2	▲19.0
飲食業	▲22.2	▲16.7	0.0	▲16.6	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0	▲53.8	▲15.4	▲16.7	▲41.6
サービス業	7.5	10.5	2.7	▲8.1	▲5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲12.1	▲12.5	▲9.1	6.3



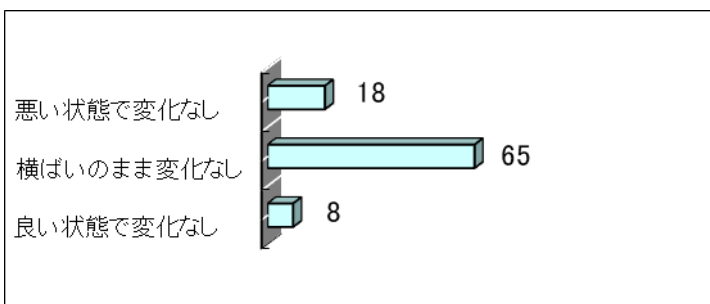
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和6年4月～6月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.0ポイント減り11.3%、「下降しそう」が2.9ポイント増え9.6%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲11.1)、製造業(0.0)、卸売業(▲7.7)、小売業(0.0)、飲食業(▲16.7)、サービス業(9.3)であった。

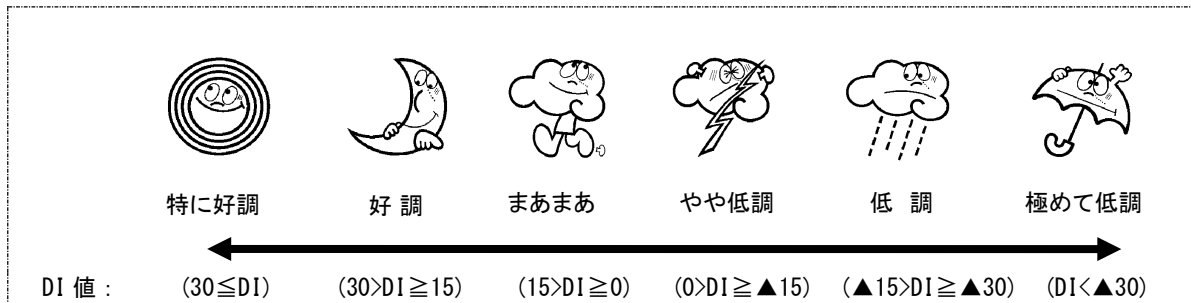
➡「上昇しそう」では「客先内示のため」「季節的に上昇するため」「新年度に入って在庫調整が終了しているため」(製造業)「春の観光やゴールデンウィークで人の動きが期待できるため」「海外観光客の来客者が多数見られるため」(小売業)「観光客等の増加のため」「暖かくなり観光客が増えたため」「ゴールデンウィークがあるため」(飲食業)「本格的観光シーズンの到来のため」「インバウンド増加のため」「新学期が始まるので期待しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「新年度工事の発注がしばらくないため」(建設業)「供給量が減っているため」(製造業)「野菜高騰による購入減のため」(卸売業)「職業訓練応募者数が急減しているため」「今期のテーマが少ないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

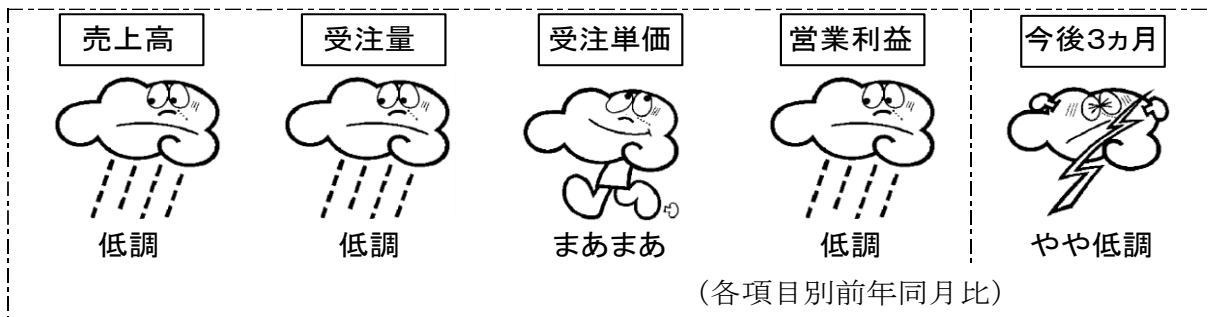


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
売上高	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2
受注量	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 11.7	▲ 26.6	▲ 16.6
受注単価	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0
営業利益	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2
見通し	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	▲ 10.5	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 11.1

## <経営者の目・見方・e t c >

総合建設

・毎年ながら新年度になってしばらく工事の発注がないため各社苦勞をしている。早期発注を望む。

電気工事

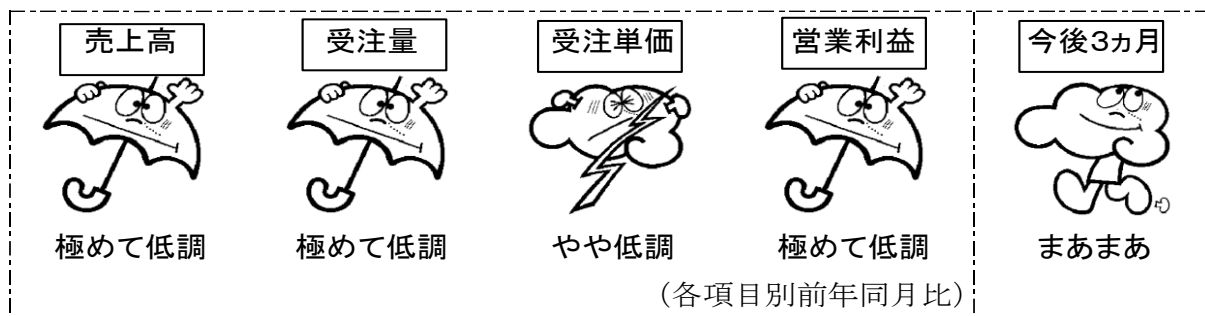
・高圧ケーブルの仕入が不可能。また、CVT ケーブルの仕入も容易にはいかない状況である。

鉄工

・新年度を迎え2024年問題となる運搬費の上昇も含め、鋼材価格がこれから一段の値上げが見込まれる。客先に対する価格転嫁を行えるよう業界としても努力したい。

・4月に材料の値上がりがある。3月は低調であったが、4月からに期待したい。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
売上高	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲23.5	11.8	6.2	▲31.5
受注量	▲5.0	5.0	5.6	5.3	▲5.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲31.6
受注単価	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7	▲6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲10.5
営業利益	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5	▲35.3	▲5.9	▲25.0	▲57.9
見通し	▲25.0	▲15.0	5.5	▲15.8	▲5.2	16.6	0.0	16.6	▲5.8	▲17.6	23.5	6.3	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

印刷

- ・業界自体が依然としてこの物資高騰の状況にも関わらず、デフレに歯止めが掛かっていない。印刷物については依然として地域で経済を回すという意識が低く、残念である。

精密機械

- ・時期は不透明だが、昨年来低迷していた半導体関連が底を打って今期は動きがありそう。しかし、自動車関連の不祥事が続き影響が出ている。費用の高騰など課題は多い。

食品・飲料

- ・調達コストの上昇が続いている。

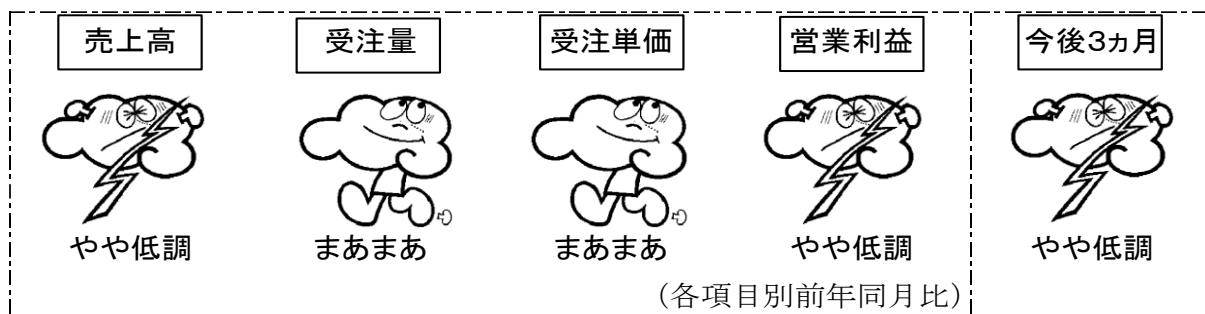
小型情報機器組立

- ・先の見えない状況である。

金属塗装

- ・今年の3月は過去5年の中で1番悪かった。受注、売上が低く、また、経費高も重なって利益率が最悪であった。

## 3. 卸売業




【項目別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
売上高	33.3	▲12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1	0.0	21.5	▲15.4	0.0	▲7.7
販売客数	11.1	▲25.0	▲10.0	12.5	▲8.4	▲18.2	▲25.0	▲27.3	▲16.7	▲7.1	▲7.7	▲7.7	0.0
販売客単価	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3	▲7.7	0.0	0.0
営業利益	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0	▲7.1	▲23.1	▲23.1	▲7.7
見通し	0.0	12.5	▲10.0	0.0	0.0	▲9.1	▲33.3	▲18.2	0.0	▲7.2	▲23.1	0.0	▲7.7

<経営者の目・見方・e t c>

- 魚介類
  - 自転車
  - 土産品
  - 金属製品
  - 製菓材料卸売
- ・夜の飲食店の賑わいが駅前に集中している。
  - ・春の繁忙期のスタートが遅れた。値上げになり、販売店、お客様が今まで以上に価格にシビアになっている。
  - ・新規の開店もあり好調に推移している。
  - ・新年度から各高炉メーカーは値上げの発表をしたが、流通が追いつかない状況である。物量の回復は底を脱しているものの、未だ今一步のところで推移している。
  - ・天候不良に前半は悩まされた。

## 4. 小売業

<b>売上高</b>	<b>受注量</b>	<b>受注単価</b>	<b>営業利益</b>	<b>今後3ヵ月</b>
				
好調	まあまあ	好調	低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

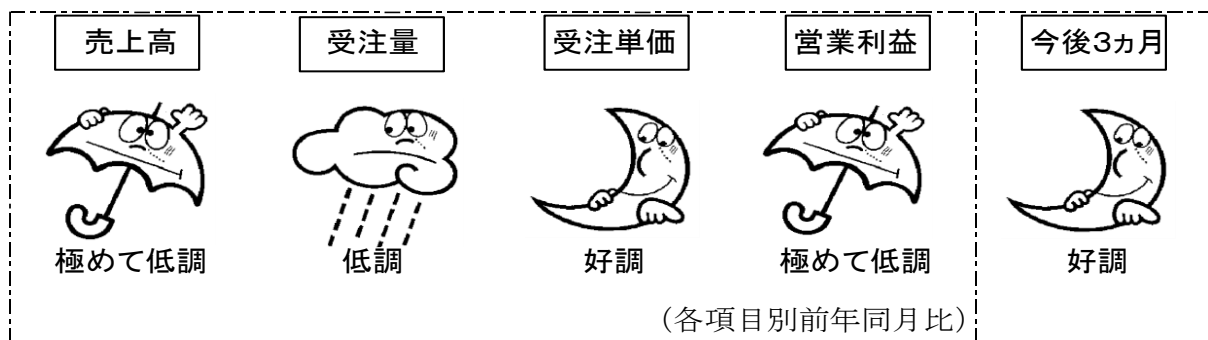
【項目別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
売上高	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1	19.1
販売客数	4.4	▲ 9.5	17.4	▲ 9.1	4.1	20.0	▲ 20.0	9.6	▲ 5.6	0.0	5.5	9.1	0.0
販売客単価	0.0	▲ 19.1	26.1	9.1	25.0	15.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 5.6	0.0	▲ 5.6	9.1	19.1
営業利益	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0
見通し	17.4	▲ 4.8	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0	▲ 19.0	▲ 5.6	▲ 21.1	0.0	18.2	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- 印章
  - 印章・刃物研ぎ
  - 化粧品
  - 宝石
  - 生鮮食品
- ・コロナ禍前の水準に近づいてきているので更に頑張っていきたい。
  - ・じり貧の様子が気になる。
  - ・業界最大手の化粧品メーカーが全国で1,500人の希望退職者を打ちだした。
  - ・周年催事があった為、売上が大幅に伸びた。
  - ・何か品物を仕入すると仕入値が上がってくるが、すぐ価格に転嫁できない。

## 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
売上高	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3
販売客数	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲ 25.0
販売客単価	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0
営業利益	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6
見通し	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0	▲ 7.7	7.7	33.3	16.7

### <経営者の目・見方・e t c>

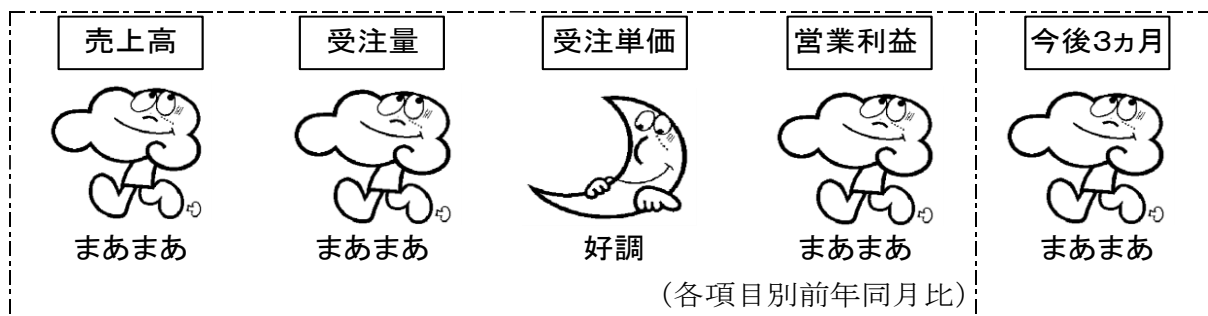
料理

寿司

食堂

- ・円安や外国人観光客の増加、仕入の高騰などがあつた。
- ・3月に入ってから何回か雪の日があつた。中信地域のゴルフ場もオープンしたのに、雪のためクローズせざるを得なく、相当な痛手であつたと聞く。反面白馬地域では、外国人のスキー客や観光客で大繁盛した。3,000円のラーメンが飛ぶように売れたと聞いて驚いた。同じ山雪でもその立場によってずいぶん変わるものだと思った。
- ・イオンモール周辺は、土日、大変な混雑だつたのに対し、その他の場所は降雪日が多かつたことも影響し、日中の人手が少なかつた。

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
売上高	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4
販売客数	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1	12.5
販売客単価	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0	18.8
営業利益	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3
見通し	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1	9.3



## <経営者の目・見方・e t c>

ソフトウェア	・ここ数年で開発環境について劇的に変化が見られ、顧客ビジネスのスピードに追従するように開発案件も技術的要件や業務知識にも広く深い知識が求められる。エンジニアの確保にも困難があるが、顧客にも自社ビジネスに自信のないケースが見られる。
ホテル	・宿泊も宴会も直前の予約が多く、人員の配置に苦勞した。
ホームクリーニング・ リネンサプライ業	・リネンサプライでは、インバウンド及び国内のお客様が来松され、順調に売上を伸ばした。ホームクリーニングでは、3月は雪と寒さのため冬物が持ち込まれず、売上が伸びなかった。
タクシー	・春になり外出される人が増えたのか、売上は多少増えた。
機械設計	・製造業の今期の動向がまだわからない。
温泉旅館	・国内客、海外客ともに好調である。 ・全般的に動きが活発である。特にスポーツ競技関連者からの宿泊の問い合わせが多い。

